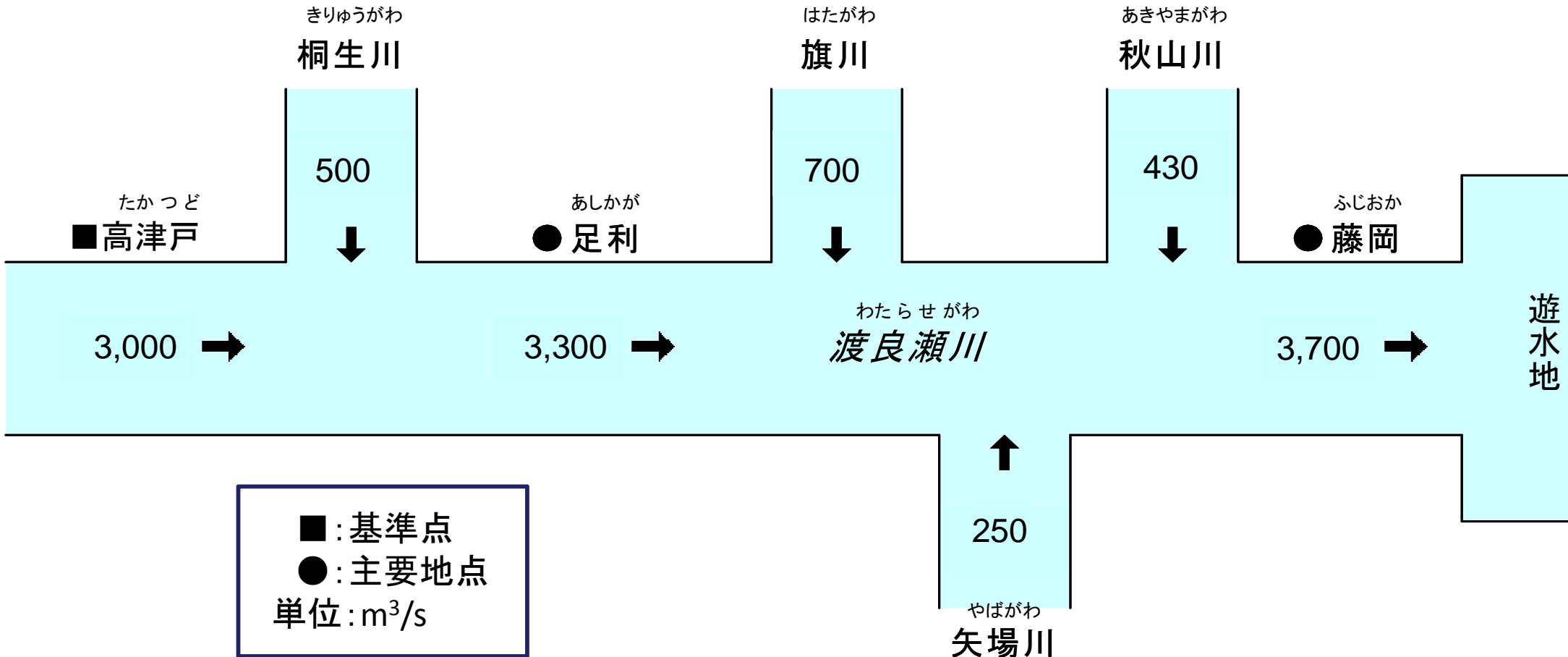


渡良瀬川河川整備計画の目標(案)について

平成28年11月21日
国土交通省 関東地方整備局

渡良瀬川河川整備計画の目標(案)について

- 渡良瀬川においては、河川整備計画の目標流量を基準地点高津戸において、 $3,300\text{m}^3/\text{s}_{※1}$ （年超過確率 $1/30\sim 1/40_{※2}$ ）とし、このうち、河道では $3,000\text{m}^3/\text{s}$ を分担する。



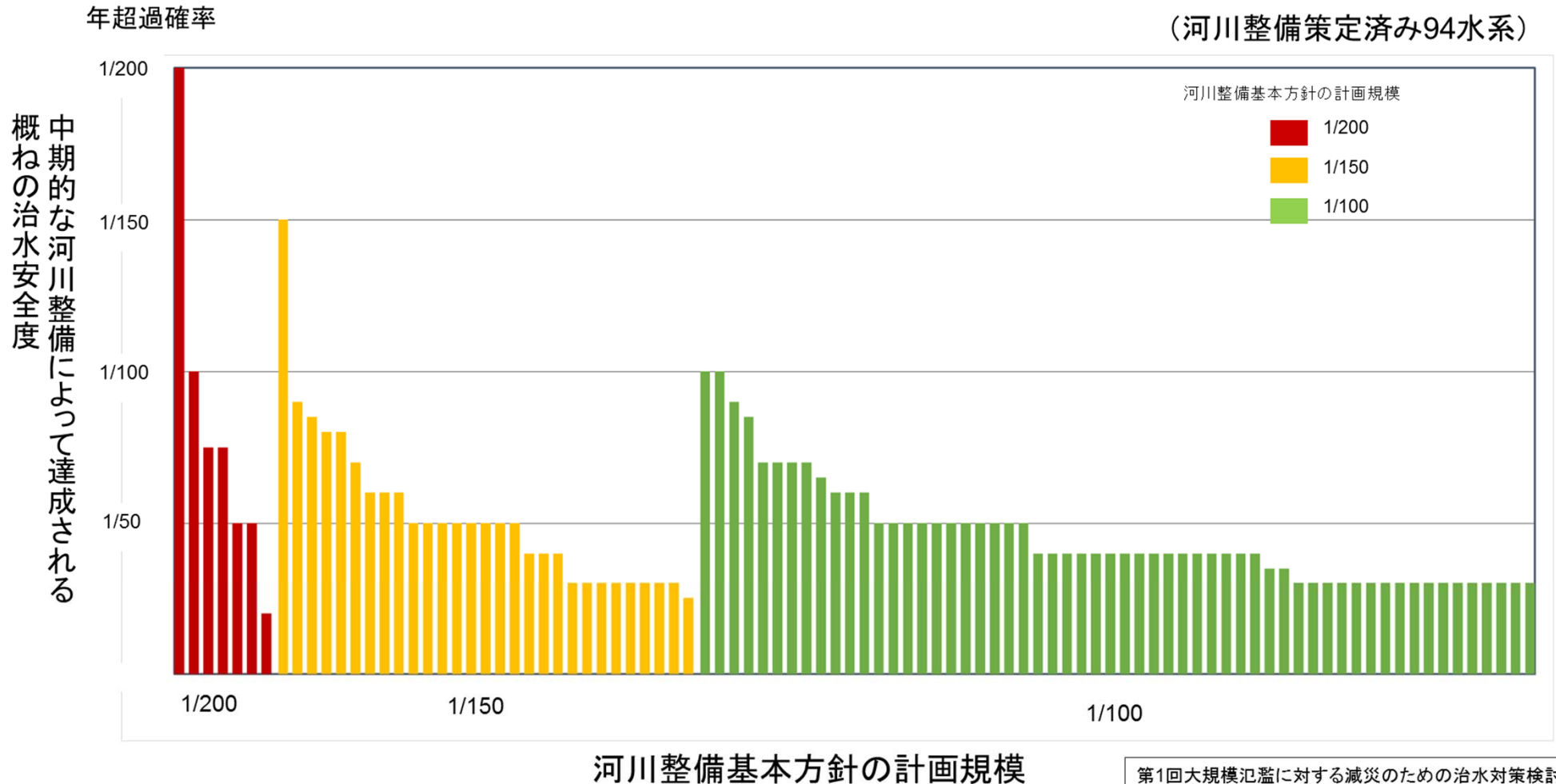
※1. 洪水調節施設による調節がない場合の流量

※2. 「利根川の基本高水の検証について」（平成23年9月）と同様の考え方により構築した流出計算モデル（「渡良瀬川の流出計算モデルについて」）を用い年超過確率の評価と目標流量の算出を行った。年超過確率とは毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率を示しています。

渡良瀬川河川整備計画の目標(案)について<参考資料>

中期的な河川整備によって達成される治水安全度

- 河川整備基本方針の計画規模1/100の河川において、国管理区間の河川整備計画については、20~30年間の中期的な河川整備によって達成される治水安全度は多くの河川で概ね1/30~1/40である。



第1回大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討小委員会(H27.10.30)【資料4】より抜粋

※主要な基準地点における概ねの治水安全度を示している。

※整備途上である場合、上流が氾濫することで下流の治水安全度が確保されている場合もある。